遠見聞抄

三河國風土記

イ 5
448
7

三河後風土記抄錄

中篇

人

448
7

三河後風土記中編

氏康夜討ヲ伝ル陣所　河嶋勇洪水ニ逢ル

上略　[illegible]　奥州十二年ノ合戦ト

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

同家依[illegible]多年[illegible]大須賀[illegible]家言石川家成酒井忠親[illegible]
[illegible]家成と始て諸侯多[illegible]又[illegible]接者中[illegible]源道[illegible]
世人[illegible]義と云源五郎首れ源五郎と云[illegible]
[illegible]義と云源義[illegible]
[illegible]家[illegible]
[illegible]
[illegible]

常日を越候不。新き宇佐美駿河守小田原浪人分
小田原長尾家に兵法を伝授し後河守の弟
て立て軍功ありて北條氏に仕へ常日を山本勘助に
ましし中略 此時信玄の浪人し遠
長小田原にて祖父に親吉閑伯 徳川の老臣石川
伯耆守酒井雅門督等に勧め吉家を宝とし
云々生て皆一しとして此家に詳義の上にて
去る弘治三年丙辰六月十五日出家人不列其時不
新軍法改矢山本常日中号次家康公十五才
与駿河守佐時更年号 当家に軍法を学
く常日の指南しなる 天正五年秋常日秘事
少て長尾軍略を盗 中略 神伝坊を云
集員公家康公に献す 家康公自愛不斜折

常日紙にて神伝坊と云軍法公に学び訳去
と未成ずして聚閣す中に文盲短才なる
石舟自ら長尾軍略未鑑後に改軍鑑要枢録中
号す此書を長尾家数代の戦伝を自取 古角虎は
城地已下抜不申 神伝坊に授伝し
佐美の伝法にて云類寸にて常日敵上にて折
中略 下略
上杉謙信家中に佐美伝法に及ぶ
已前より一味なり 其後 下略
在見なり

信長出門 山門焼滅 中略
織田信長 数万人の五十郎 比叡山 攻 是を
大衆等 浅井 胡倉に一味し 信長に敵する 而に不 攻軍

勢に兵粮を敵方へ奪はし剃信長を何い奪んと謀る

小谷の城攻合戦不及に成 下略

○遠州味方ヶ原合戦の事

上略 浜松城手の所に夏目次郎左衛門吉信 都筑右京亮

宮内少輔 内藤四郎左衛門尉 本多平八郎忠勝

此一戦の形勢何い寄る次第中略 右京亮も九十三歳

中略 家成不一通にて可然しなり 四天王の

中略 家成 家康と共に家成の麾下の

本多平八郎 家成 家康の麾下の

遠き紙 計せて 三寸斗 奥強の間 長六寸

可 中略 夏目吉信 秘蔵の書 大将

合戦 計死 中略 夏目吉信 本一の和と成 九郎左衛門

諸に成て 計死 中略 敵軍 二度 注進

中略 家康公聞給ひ 此方へ

と云 上略 此軍 夏目次郎左衛門

軍と夏目次郎左衛門 長の

中略 夏目吉信 長の

戦て 夏目次郎左衛門

と云 夏目吉信 軍を

山縣昌景 一番成て 六千騎

名を 徳川家康 一騎

中略 夏目次郎左衛門 討死

星月 夏目次郎左衛門 首

家康 夏目次郎左衛門 家

入 井伊兵部少輔 元忠 池

[illegible]

○三長野田落城 附 [illegible] 下略

賀者之事

上略 松平与市ノ長臣 [illegible] 詩の住人 性誠太市長恪と云者 [illegible]

信玄を [illegible] 帽子と [illegible] 下冠小 [illegible] 且玉 [illegible] 下知 [illegible] 信玄の [illegible]

類よりし 後は首の貴き [illegible] 信玄と [illegible] 名将と [illegible] 異かや [illegible] 武略 [illegible]

[illegible] 下略

○第脇将軍京都没落 附 信長義昭軍 并

義景滅亡之事

上略 [illegible] 細代は [illegible] 将軍家よりの免 [illegible] 落中

と往返しし [illegible] 義昭 [illegible] 賊の [illegible] 賊小 [illegible] 首と路 [illegible]

[illegible] 大路小路 [illegible] 歓 [illegible] 哀情多 下略

○浅井祐政父子滅亡 附 [illegible] 下略

長嶋一揆退治之事

上野は時頃丹波守杉谷に善住房申す者と搦められ
て信長を敵し奉る是を元亀元年四月に信長越前へ
発向して朝倉義景の持城手筒金ヶ崎の両城を責落
し給へる刻浅井長政謀て信長の後を
打軍せんとまかりよし信長軍を返し杉本谷の道を通
てまかり波皇に場りて手負数多出来
候の善住房と申して鉄炮の上手にて通り難き所を
猟師にて鉄炮の上手にて通り難き所を
天運や強かりけん敵に処を二丁玉信長の差しの方
へ打て当れり中らず軍兵も出かねて驚かしこと
尋しふるへ立かねる内に信長の手に成り
信長の手に成り 下略
○五月廿日勝頼ら信長家康公三只長篠大合戦事

（勝頼三十歳信長四十七歳）
去程に天正三年五月廿日勝頼の信長中家康公
より以作合して鉄炮三千挺に択び柵の中に
搦め寄せ中略 信長家康
拾人の尉直村 打死する作終に武
勝詩 長篠柵の中出かねて 五日に紫末を
白旗と云曽根の堀内に 武田の家に名を直村と
武田の家に名を直村と 子孫に二十一代来る
子細あて 一説 信長の鉄炮に倒れ死 直村
諸説区々 家に不可死 夢に言伝と云 信長
高名に成 軍門に屈を晒す首 敵
敵の家従根金平 大音上げて 勝頼
命の惜きて 私信長 旗長 世敵に
やらるといふ 武田の旗 奉て 旗を是
古の事 新化文字 旗を

上杉家より武田金平又四郎を以て田辺城山縣内蔵等を武田
表裏仕候旨申し越し其方と歟
調ゝ申候ハ家康と同盟ニ金平ハ家康ハ
妙法寺迄参り参詣ハ中略又武田左馬介信玄いけんくハ
我ハ信玄と申ハ
小田原ハ参る信玄の旗本ハ山縣と黄瀬戸ハ返しハ謹ハ
北条氏の肩と云紙金泥の縫ハ以縫を不来
信玄の縫ハ信玄ハ信玄ハ諸頼ハ
ゆ者ハ武田勝頼初陣ハ只三騎し勝頼初陣と云て
宮ハ信玄ハ信玄ハ諸頼ハ書状ハ
し歟の為ハ首と云ハ勝頼の
北条と為して而て来ハ下知ハ初陣
中信玄間て志と其後と為ハ縫を押ハ家人

者ハ武田家ハ押詰ハ家必ハ討
死ハし沖を乗越て此縫ハ勝頼ハ
ハ帯を拾て拾て結を是ハ
して云ハ龍丸信繁信玄ハ
信ハ為ハ信繁ハ川中島の戦ハ
ハ名と云ハ中為て
為ハの軍ハ不見ハ不見ハ
ハ信玄より紙ハ縫を
中ハ信玄ハ返ハ家の
ハ勝頼自ハの家ハ信
ハ初陣ハ
ハ石留ハ縫
ハ初陣ハ
ハ諸頼ハ行
ハ歟ハ
ハ十六歳ハ勝頼ハ

[illegible]て敵を進む其時大井肥後守高利逆心に成
[illegible]て[illegible]の敵沈と合て[illegible]来りるるを[illegible]勝頼と
示せんと欲勝頼の云く其時[illegible]討死すべし示せ[illegible]
[illegible]高利[illegible]て[illegible]抽きに[illegible]を大将の討
死せんと[illegible][illegible]欲死まじ[illegible]と良将中云良等
[illegible][illegible]を一[illegible][illegible]て退
[illegible]せ言利に疲[illegible][illegible]繼武に[illegible]大音上げて元弘
建武以軍の時新田義貞[illegible]命に[illegible]討死しる小山田
太郎三郎の孫笠井肥後守高利[illegible]云[illegible]失[illegible]の
[illegible]と[illegible]主君の[illegible]討死[illegible]首[illegible]言[illegible]
敵を[illegible]更[illegible]敵に[illegible]切[illegible]三[illegible]
敵と[illegible]

勝頼中[illegible]武田[illegible]軍[illegible]信[illegible]

○[illegible]国[illegible]城[illegible]所[illegible]山[illegible]信[illegible]
上野三[illegible]刈屋城主水野下野守信元[illegible]
[illegible]家[illegible]の[illegible]
川の城代[illegible]佐[illegible]
殿[illegible]
[illegible]
[illegible]

出ハ信之同ノ仍未也爾ノ安堵ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]信之ハ姉ノ子水野監物老之ハ二男集人ニ[illegible]ヲ云シ
ノ逐電ス

是ハ初ノ名ニ二男目ノ字勝成ノ子慶長十五年
[illegible]ニ[illegible]ハ[illegible]右下野守二男水野清兵衛守之孫[illegible]
家ニ[illegible]

○土井大炊頭利勝由緒附系図ニ事

水野監物図集人ニ[illegible]信之ハ妻ハ女子二人又成瀬
男子一人[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]

誕生之事

天正元年十二月家康公の嫡子岡崎三郎三郎信康卿
十五歳の時中国の長久の軍の時太閤秀吉家
康公中仲和睦の時桜井松平小笠原
信康人質に出されし秀吉大に悦て此義を
以髪切揚く出し信康神妙に思召
出給ひ為子康政養子に秀康と号し秀吉の義
子に成給ひ家康公と秀吉の義
一味の為の自傷なり家康公も秀吉
義を深く感じ給ひ是に天正十二年十二月十二日の事
此時義を重ん為の世継に叙従五位下
任三河守秀康と云天正十八年七月十日小田原小峯城その
時結城中将太閤秀吉朝臣の味方なり秀康を結城
の養子家督相続の事
是を家督相続の男子なし奥州会津へ秀康を
養子に賜ひ彼奥州へ遣ひ則家督を継せて叙従五位
下少将に任官長五年十二月に家康より結城の城
井城六十七万石但府中とのこと
従三位任宰相同十四年四月十日任権中納言同十二年
四月八日に逝去し時に三十四歳浄光院殿中納言
君と称す事し

○井伊万千代侍奉の初の事

天正三年正月下旬家康公為に放鷹遊見
の処小路に不思議なる者の子に出会
原太郎右衛門子也中略平作下
小中松下に出会に刈り出し其小姓原太
郎右衛門子に成百千代と云て其心才発抜者にして其心

小竹にて暫くの間とは側を[illegible]
他不吳者り故不祖父北田[illegible]
母者不勝[illegible]
盛[illegible]
義元不仕奉[illegible]
肥後守直親中[illegible]
親並心の由氏直之譜[illegible]
り為不[illegible]
[illegible]
の城主[illegible]
[illegible]
[illegible]

氏政信玄小田原ヘ出馬ス氏真ハ駿河ヲ捨テ遠州ヘ引取ル
家康ハ遠州ヲ攻取ル信長ノ援兵
信玄ハ京都ヲ目指シ上洛ス信長ハ
家康ハ千石ヲ与ヘ遠州ヲ与ヘ
信長ハ和睦ス氏真ハ遠州ヲ捨テ
小田原ヲ攻ル氏真ハ駿河ヲ捨テ
設ケテ立籠ル家康ハ高天神城ヲ
攻ル氏真ハ小田原ヲ
出テ戦ヒ敗北シ
氏真ハ駿河ヲ捨テ
遠州ヲ家康ニ与ヘ
信長ハ氏真ヲ
家康ハ遠州ヲ
信長ハ氏真ヲ
信玄ハ氏真ヲ
信長ハ氏真ヲ
信玄ハ氏真ヲ
信長ハ氏真ヲ
信玄ハ氏真

○長篠城責　附鳥居強右衛門　并勝頼軍評定

（勇手九ノ帝信昌并加賀ノ守秀吉ノ軍ニ属シ三河伊勢ニ戦フ事）

上野勝頼は越後に出馬し、高天神の城を攻め落さんとて、
長篠城に陣を取り、家康は岡崎に籠り、
勝頼は大将に三千騎を付け、
奥平ことき殿と守り、
城を攻めしに、
命を助け、其者は城を明け渡すべしと、
城方は軍兵不出、
不出ずして、
勝頼軍加勢として、
○三長遠長両国躍高昇沢井右近大夫奉ル
始ノ文
天正四年夏の始めより三長遠長踊り花て詰人

者く踊り中略信長ニ
此時不来ず無ずして其踊り
射殺しの後
を蒔を
武士ともに
家業に
下
養し
是
踊
信長
中略
（頭ノ付ノ中書ノ安部ノ名）
信長

[illegible]ハ基ヲ（三州ノ）當国大浜ノ城主長田重元ヲ攻ル時ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ則其里民ヲ召テ問ヒ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ其ニ其ヲ由結ヒ[illegible]尾張ノ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ

[illegible]切中中[illegible]慶長七年[illegible]の秋石田治部少輔
三成企謀殺決民間[illegible]
の幕下[illegible]平均[illegible]後家康[illegible]
中[illegible]服[illegible]
[illegible]
改[illegible]
秀吉[illegible]江戸の城[illegible]
[illegible]後府江戸[illegible]
[illegible]慶長年中
[illegible]
[illegible]
親[illegible]日慶長五年[illegible]九月決民間[illegible]
[illegible]江戸[illegible]
[illegible]

[illegible]
家[illegible]
[illegible]御制法[illegible]
[illegible]制法の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

○信康公[illegible]

家康公の信長聞崎二度三度信康公大[illegible]

[illegible]

[illegible]

上杉景勝の娘婿なり

○武田勝頼の長女は上杉景勝の嫡子景虎の妻なり

上杉景虎は天正六年九月二日に家督を継ぎ

景虎は北条氏康の子なり

○北条氏政の妻は武田信玄の女なり

上杉景勝は天正十年三月十三日に織田信長の為に滅ぼされ

景勝は北条氏政の妻なり

○北条氏政は実は北条氏康の子なり

上杉景勝は天正十年三月十三日に織田信長の為に滅ぼされ

景勝は武田信玄の女婿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

政を父子兄弟と切てい下略

○[illegible]氏直一再来援相家臣を勝頼見

陽對陣義[illegible]原新六[illegible]

上略[illegible]民戸倉の城小業氏負城代[illegible]て氏政

家人随一の老臣松田尾張守憲秀の一男[illegible]原新六

秀俊の事出新六一老北條氏[illegible]と其心振賦

く武義の[illegible]世実有[illegible]徒

[illegible]て[illegible]と[illegible]功[illegible]て走[illegible]

[illegible]故小[illegible]

[illegible]氏直父[illegible]

[illegible]て[illegible]

[illegible]外[illegible]徒[illegible]

[illegible]

[illegible]

二十四家と云ふ作る本家山中家大草家河和家長谷
家老義家山六家他家ともに三家信長に仕へる故此
六家と右十六家を加へて世の人二十四家と申す
○小笠原信嶺並信忠所領伊賀国並城并今福家
（信長伊賀平城（後名乗り）上野庫助信昌ノ一族）

上畧又小山田備中守昌成信長に仕へ金森と高遠城を攻落し
て信盛と城を守り武田方の城主小笠原掃部大輔中務大輔
に信忠不審を蒙りて武田方の国の事問へしに国中に軍兵を送
り聞へしに信忠に軍兵を送り聞申して降参を乞ふ者多し
信長舎弟織田源五信益へ道後へ道して有楽
○宗山梅雪致逆心滋賀所信忠高遠城和睦術
（僧ヲ使トシテ和睦ノ事申ス小山田仁科等更ニ内々ニ天使僧ノ事奥ヲキリテ此ヲ及ニ申シ内々ニ敵ノ大将信忠方ヲ奥ヲ切ルトテ返サレケリ）

上畧信長に七万余騎を以て伊奈口より攻入る家康五万三
万余騎と以て駿河の諸城を攻落し市川口より攻上る
北条氏政も三万余騎を以て関東口より攻上る信忠も五万
余騎を以て木曽口より攻入る中略高遠城を城主を勝
頼に命ず仁科五郎十五歳信盛を城主を小山田備中守昌成
四郎を勝頼に諫め勝頼女房衆に相談す
息を武田家の諸侯神林十五郎中略武田家の諸
大将を高遠城に籠る信長に合戦に一番に義を
討死しる事を高遠城を攻落す
○勝頼諸将集会上方を抜判せし
因新府城を焼き中略
上畧時に小山田左兵衛尉信茂武田家を不仕故留

郡内を甲州第一の峻嶮の地とし為すを以て
敵兵大勢なりとも新くを来り難き事なり
又真田安房守昌幸の如き
上野吾妻に移りの
[illegible]居住して
思慮し
[illegible]
其時太守信勝進て出て
[illegible]
[illegible]
[illegible]

原しかし云勝頼を元来必ず[illegible]長坂釣閑[illegible]
事を不義と云て義と云ひ[illegible]の上経年世紀の大物[illegible]真田
[illegible]引のんとして小山田と云人を[illegible]中略信玄生世の時を武蔵を[illegible]郡内へ[illegible]
[illegible]富士も勝頼の時小[illegible]て後信甲上野国の城[illegible]
[illegible]の軍[illegible]信[illegible]遠の城小[illegible]小山田信中守[illegible]
[illegible]城を[illegible]
[illegible]て[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

○小倉山内侍為第士治部卿宗弘と云者

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○信長信光謀武田一族家人 附家臣[illegible]

勝頼弑親事 田野[illegible]

天正三年二月十日武田[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]滅亡させられ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]の[illegible]を道んなる二[illegible]ハ[illegible]妻[illegible]入[illegible]退
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ

[illegible]

○信長後妻[illegible]寺[illegible]信長[illegible]

上野寺中[illegible]信長[illegible]山門の二[illegible]人[illegible]

[illegible]

○[illegible]年信長[illegible]

家康[illegible]遠[illegible]軍[illegible]

軍長[illegible]

[illegible]

[illegible]

めらる是を以て信長の妻女人質として脇坂方
へ引渡し信長の舅家康公へ申遣し一度は
彼妻女を磔に掛けて見せ申すべきと仰せ
故此後不申候

○長曾我部信親信長に降る（信長三男三七郎）
一言童山養嗣事

上畧・土佐長曾我部元親は土佐国を切取て大国
威を振て居候処河内守信親は
親泰に時に信親元親の家督を相続して
中に云者なり堅く婚を長曾我部元親と為
元親の娘を以て元親と信長幕下に属す
親の婚姻に信長より諸の字を賜り信親と
号す元親未長成して

中略

長曾我の大力一騎当千長宗我部元親全十枚（左六、）
（弾載上）
土佐国の内に元親の一族なり此度に
国の内に元親の婚姻・可切れとの
事なり何人元親自己の志
切れとの義信長大に怒り
元親婚姻を以て
元親を以て武家と仰せ
元親を以て武家と仰せ
土佐国の内に元親の一族なり此度に
国の内に元親の婚姻・可切れとの
事なり何人元親自己の志
切れとの義信長大に怒り
元親婚姻を以て

長政信長ニ降申候ハヽ摂津・和泉
両国ハ長政ニ遣シ申候ハヽ信長ハ
川後表ニ出ス（後表ニ出スト云）と事角者ニ成て信長ハ浅井
并ニ朝倉ニ対シ申候ハヽ大ニ信長ハ
山城・河内ニ出ス国衆人数ハ
○信長上洛所州名諱文并集家人評定之事
去程ニ信長ハ如何様ニ成ハ
命ニ成て上洛ハ中ニ信長ハ野洲郡ニ
着陣ス長政ハ宣秀ニ息ハ
と云ハ城ニ籠ル信長ハ終ニ近国ニ
被騎ス（時ニ信長ハ近国ニ居ル）而ハ上ハ
ハ信長ハ秋田城ニ入信長ハ
降ル信長ハ近国ニ命ス

（蜷川親俊・角美濃長政ハ信長ニ降ル）

義ハ中ニ逃ル信長ハ近江ニ
入ル宣秀ハ信長ハ惟任日向守
ニ命ス惟任ハ加様ニ可有ハ
ハ信長ハ近江ニ知ル
ハ五月十六日ニ信長ハ
国ニ新ニ籠山城ハ
里ニ信長ハ一宿ス
ハ不知ハ

中ニ逃ル義ハ近江ニ
ハ丹波
ハ新ニ
ハ国衆ハ
ハ丹波
ハ師ニ
ハ紹巴ハ下ル道ニ
ハ宣秀ハ

中ニ逃ル義ハ近江ニ
ハ五月ニ
中ニ義ハ宣秀ハ惟任ハ
中ニ信長ハ
ハ惟任ハ
ハ信長ハ
ハ惟任ハ
ハ信長ハ
ハ信長ハ
ハ信長ハ
ハ信長ハ
ハ信長ハ
ハ信長ハ
ハ信長ハ
ハ信長ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

受て討死せんかはせ一中宮を長祈中なりを小谷遠
山屋敷に只此比なれ共討死をして走る一中中
信光自害しのいを時に水い嶽し織田信長の所に
及代村井長門守はせ入て長祈福島ぶ長の家臣
屋敷なる尉信宗国に来り無二に自害しをし
前徳長浪を以て敵未寄日前信光を殺して
阜に引き三位殿（之強して織田三郎殿信長中納言云）
玉しに中宮を不清水と通て信長に引渡
信長して長良川に沈きをし　下巻

○明智光秀謀反盛鶴の事

抑明智光秀の信長を恨る盛鶴て幸を思い無反の
利三り為て関白を此利三を本国越前の信長に
利仁将軍の末裔り是利仁将軍家繁昌の時無反る

失祖斯波家に仕へ奉て家を斯
波家と云を是利長屋敷守三郎
神仕し小其近長郎金と小者数逆て
越前を神仕す斯波の二老織田
金小路まを小郎すして是も長
三氏利之り父を越前小生しを
りまをす（まして）越前を言退長長小郎織田家へ
従小生し越前り生て国長守り所小
り生国隠居信家信長の父生し所国長
ぶと此国りを小て新長の父生し所国長
無反父を言を小る此小新長父の軍法
敬せ事を言を此新長小て家を小
結家りせし事を此新長小郎を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

迎い賢秀を招ぎして、[illegible]る人感じ[illegible]

○蕃生賢秀去安藤附秀吉の安藤事

去程に信長の仕置所に蕃生[illegible]
と敵見る以清小勝[illegible]
日出城に移し清殿[illegible]
の小賢秀[illegible]
城加[illegible]
たく一旦秀吉の高城
[illegible]
賢秀[illegible]人[illegible]
賢秀[illegible]
元を日出城に迎[illegible]
兵[illegible]

[illegible]
集屋し[illegible]
[illegible]
[illegible]
秀吉[illegible]
中笑 秀吉城迎[illegible]
迎[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

[illegible]

備前へ出馬して信長と戦ふ事しばしば数回なり
其時に信長の近国諸侍の軍兵共に
扶持を加へ味方に引入れ信長と戦せしめる事
お達のくち説口伝

○輝元信長和睦並安国寺長老し
并輝元和睦評定之事

上書 六月二日朱引 長谷川宗仁京都と申上ると同
二日の夕の刻下 秀吉備前小地蔵 光秀敵逆して信長
公と戦するよし注進中略 秀吉中国の諸侍
交渡報逆して去る二日信長公と戦しより中一昼夜
京都より注進申上ると雖も 約諾の通して
信和睦をしやうとの事なり遠国を以て是迄
光秀を信しの人なり安国寺と御侍

安国寺和尚中国へ下向し元来侍の生の人
長谷の宗仁と申上ると同
信長の御内に早川隆景と申人
信長の御内に一旦秀吉と
光秀と申人
小島に為破て宮内卿
主と仕り氣質不逃
中にて仁勇智信義
弟ふ者にて主と申て
業間に宮を
少人主を不
主を名
信長公
主と
主を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

少弐大の[illegible]小五郎国吉[illegible]秀吉
聞て上洛す 刑法[illegible]和睦の事調て[illegible]紙
[illegible]し 輝元は刑部[illegible]小浮田
[illegible]秀吉[illegible]輝元[illegible]
[illegible]輝元[illegible]中[illegible]
[illegible]刑家[illegible]
[illegible]福原[illegible]
[illegible]秀吉[illegible]刑[illegible]
[illegible]和睦の事[illegible]
[illegible]輝元[illegible]
[illegible]秀吉[illegible]
[illegible]輝元[illegible]
[illegible]三[illegible]
[illegible]輝元[illegible]

賊の人質として毛利法華寺元就の八男[illegible]（天正武徳伝九）
小早川民部大輔[illegible]と[illegible]秀吉[illegible]
[illegible]久留米[illegible]秀吉[illegible]
六月[illegible]小[illegible]の[illegible]
[illegible]和睦の事[illegible]
[illegible]輝元[illegible]
（[illegible]二[illegible]三[illegible]
[illegible]西[illegible]）
[illegible]秀吉[illegible]
[illegible]
[illegible]千[illegible]
[illegible]秀吉[illegible]
[illegible]秀吉[illegible]
[illegible]
[illegible]秀吉[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible] 攻 [illegible] 秀吉と [illegible]
[illegible] 秀吉 [illegible] 返
[illegible] 福岡 義[illegible] [illegible]
云 [illegible] 信 [illegible] 山 [illegible] 軍 [illegible] 武 [illegible] 智謀
[illegible] 秀吉 [illegible] 人と [illegible] 左
き [illegible] 言 [illegible] 方 [illegible] 人と [illegible]
[illegible] 信 [illegible] 義 [illegible] 信 [illegible] 批判 [illegible]
[illegible] 文 [illegible] 悔
[illegible] 秀吉 [illegible]
[illegible] 制 [illegible]
[illegible] 秀吉 [illegible] 長 [illegible] 将 [illegible] 末 [illegible]
上 [illegible] 秀吉 [illegible] 秀吉 [illegible] 二陣 [illegible] 山 [illegible] 二陣
中川清秀 [illegible] 陣 [illegible] 池田 [illegible] 秀吉 [illegible]

[illegible] 云 [illegible] 信 [illegible] 信 [illegible] 信 [illegible] 三 [illegible]
[illegible] 信 [illegible] 信 [illegible] 信 [illegible] 秀吉 [illegible]
[illegible] 池田 [illegible] 信 [illegible] 秀吉 [illegible]
[illegible] 秀吉 [illegible] 軍 [illegible] 軍 [illegible] 返
[illegible] 三 [illegible] 長 [illegible] 自 [illegible] 秀吉
[illegible] 棟梁 [illegible] 多 [illegible] 義 [illegible]
[illegible] 秀吉 [illegible] 秀吉 [illegible]
[illegible] 中 [illegible] 悔 [illegible]
[illegible] 秀吉軍 [illegible] 陣 [illegible]
[illegible] 利 [illegible] 三 [illegible] 旅 [illegible] 単 [illegible]
[illegible] 都 [illegible] 武 [illegible] 非 [illegible] 利 [illegible] 母 [illegible] 秀吉
[illegible] 妹 [illegible] 秀吉 [illegible] 池田 [illegible] 妻 [illegible] 裏

[illegible]

○安房利二位軍使告軍法于秀秀[illegible]天王山陣不[illegible]

上野[illegible]三百を以秀山崎小陣屋に[illegible]偽之軍兵と下知
せしめ[illegible]田太郎[illegible]を招て言を[illegible]生國丹後守道
い山崎の妻[illegible]を[illegible]天王山へ池上り山崎と真下に見
て[illegible]鉄炮を放へし[illegible]山崎小[illegible]敵を逆に生て進
む事[illegible]しかは[illegible]小[illegible]鉄炮の者三百
余人と[illegible]て天王山へ上る[illegible]秀吉[illegible]
秀吉[illegible]義弟[illegible]を[illegible]天王山と敵方へ[illegible]
[illegible]を[illegible]

[illegible]小池[illegible]を[illegible]山[illegible]
[illegible]鉄炮の者[illegible]小[illegible]
可[illegible]
[illegible]
[illegible]鉄炮[illegible]
[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]秀吉[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]秀吉[illegible]

○山崎一番合戦[illegible]

上略今日吳軍の我邦を侵略する也伝聞
未審して一昨日中川清秀信長の
長浜城を攻撃し清秀の家来
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小弓公方足利義明ハ伊豆の住人北條氏綱ト戦ヒ敗走シ
義明ハ安房ニ逃レ里見義堯ニ頼ル氏綱ハ軍勢ヲ出シテ義明
ヲ攻ム義堯義明ヲ援ケテ氏綱ト戰フ

一方にて生しの云ふ寄せ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以九郎と云いりなる人質に成て勝家に誓書を
次九郎に成て本末の名に成りて其後はりをとりて
者を誓書をとりかとしきりて秀吉に家次非に
次九郎中しまを信長の男女と秀吉の妻子しに非に
いに成しに亦信長中納言秀勝を為家しる子世しのい
為也

○信長横死去滝川治茂一益武田信長法師
を使者に於尾張国
滝川右近将監一益三月十三日武田勝頼討
し望月月に滝川の軍功に為て上野国に賜る其
上関東に於て成に滝川に為信長の滅に其後
下略

○甲斐一揆附河原脇守全知田石助数実并
[家臣河原の一揆の小者と知れ数人と
名前数実の事なり河原家
家臣と疑て其家人石助と数す]

此家臣云為てより甲斐国中に於て武田家人流
浪して仕村野里に蟄居しに数実出て
甲斐国人と同国下略

○信長岩尾城攻附家臣云姫天に誤云并家臣
云名信之事

上略去て信長の尤に柴田勝家五郎左衛門
秀吉と共に信長の三男神戸三七信孝を
小国城攻に成て信長に攻る志摩に於の会戦
小討負敗逃て伊賀に秀吉に成て攻入勝家に服契
且信孝も尾張野間に自害に成し秀吉に猛
威と云い伝に上洛に成を待に下略

○尾張に清洲城附信雄と秀吉法池田并片桐
連池田事

上杉方ニ成ル信雄の家臣三人成敗ス秀吉
[illegible]ニ秀吉情ヲ詳橋の義ニ及ブ
[illegible]推量シ[illegible]処ニ事の[illegible]秀吉聞テ大ニ怒リ中
[illegible]ニ[illegible]信雄ニ成立テ赤猩
世ニ立ント謀反ヲ[illegible]ト[illegible]秀吉ニ信雄ニ味方
[illegible]殿ヲ[illegible]の筆頭家老[illegible]ハ[illegible]川一益ニ[illegible]
家[illegible]ハ[illegible]ニ[illegible]ヲ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]
[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]
[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]
信雄ニ成ル[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]
と諸代せらるる事秀吉ニ[illegible]
[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]
成[illegible]ニ信雄ニ[illegible]ニ[illegible]

度々長篠門ニ[illegible]ニ[illegible]ニ先ヅ池田庄三郎信輝父勝
[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]
[illegible]ニ信雄ニ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]
[illegible]ニ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

悍改と云ふ事を聖人天下国家を治めし中に
中に古今法人多しと雖も又利勝と世長
義人多し然れども法人能く上を犯して名将
富士を義公に比して利公を世長
信玄公薬を不信長に比して賢臣不服
者に秀吉を信玄に比して賢臣不服
行所第五を謀を以て不公秀吉を美濃尾張三
河三ヶ国に比べ秀吉を播磨国に比べ
端的や美濃尾張を信長に比して高物新
不足者也又三河を徳川家康に比して法人
実了也今池田家を兵庫に比して法人
漸く及れのみ事海を渡して出ずるを
州事し拙故秀吉に蒙時天下を明治し
敵を顧

主人謀を卑賤人主国に為して武勇
公法国不拙を以て拙職不公
拙秀吉一体を事を為将富士に
熟と為不秀吉を代
大将を以て不公世代
不公世代を以て家を以
公秀吉を一体行し数
中書を中書
中書を定
公を加護を
地を擁護を
主人を主
地を宜
公を計国

義元公不言所之之者故遠く去て駿河に[illegible]義元
[illegible]言者を[illegible]洲諸侯公言の[illegible]
[illegible]義元義元義元の[illegible]
[illegible]陣[illegible]
[illegible]行相[illegible]
と進[illegible]
[illegible]
[illegible]

其の頃知行池田勝三郎信輝に仰せられ候ひけるを不仕合にて
信輝死の事に成り善法寺弾正忠殿に仕へ候ひ長谷
川与次信長の代官に成り候ひ因幡国鳥取城攻の時
中国へ出馬成られ候ひ天正十年六月二日
信長生害の時信輝勝三郎を京都に於て仕合ひ
申され候ひ中川瀬兵衛殿の手に成て
大山崎城に中川瀬兵衛と一緒に生害仕る下筆
○家康公遠江国浜松城に御在城の時家康公仰せ
被遣候ひ出陣の事

上野

○天正十年壬午武田勝頼攻の事

平岩親吉覚書に曰或時家康公仰せられ
い様に初陣の時分年若の之事

是は公儀に成り長一郎殿を武田勝頼攻の事
天正十年壬午三月十日に甲州へ
出馬成られ候ひ武田軍は信濃国
高遠城に人数を籠め置き
武田軍を待ち受け
合戦仕る中に仕
長一郎殿を討取
申され候ひ
武田軍は信濃国
高遠城を
攻落し
武田軍は
信濃国
高遠城を
攻落し
武田軍は
信濃国
高遠城を
攻落し
武田軍は

[illegible]

[illegible]

[illegible]

生駒長一之後弱[illegible]
勝[illegible]
何[illegible]

○秀吉[illegible]

参長年

永禄[illegible]
土[illegible]
行[illegible]
[illegible]
中[illegible]
[illegible]
[illegible]

討取池田父子三人

中略 家康ニ対シ大将討れ申す人間共不申候ハ[illegible]

[illegible]ハ出陣 後号右近大夫 [illegible]安倍表

[illegible]後号右近[illegible]等ハ[illegible]

接遂ニ勝ツ[illegible]崩し[illegible]首級[illegible]

進て勝ツ[illegible]池田紀伊守[illegible]

[illegible]紀伊守ハ[illegible]池田丹後守ハ[illegible]

子討[illegible]彼ハ[illegible]軍兵崩れ[illegible]

[illegible]勝ハ[illegible]敵[illegible]多[illegible]

[illegible]敵ハ[illegible]

[illegible]と漸く長久手[illegible]

[illegible]新[illegible]一万余[illegible]

[illegible]時[illegible]

二三万[illegible]敵ハ多勢[illegible]

剣敵二三ハ大将討れ申す人間共不申候ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]

[illegible]信雄[illegible]

[illegible]一敵[illegible]

[illegible]西[illegible]

[illegible]進[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]月九[illegible]

[illegible]時の軍[illegible]

[illegible]安倍長吉

[illegible]

[illegible]井伊直政

[illegible]

○秀吉・長久手戰ひ 幸田志摩武房 并 泉水寺軍之事

[illegible]家康と羽柴秀吉大將として[illegible]の小牧と海[illegible]
軍[illegible]
[illegible]家康と一戰し勝[illegible]
[illegible]
[illegible]

後世に傳ふ小兵衛は（忠勝の幼名）我大兵（七万余騎）を率（秀吉）
て小牧山に陣を取（天正十二年）中第一秀吉
軍兵大敗泉寺口に出張する間しばらく時を移す（秀吉）
功を去り作りなる事小牧山に出張する事
大軍を不能して全敗を取り逃げ帰る
世事を我人忠勝に語る事
秀吉大軍を威勢を以て攻来る事
一戦し討死を決するの心なり
毎日敵を待ち時を移す
敗しし世事を知る事
し陣中に出張を感じ者
○秀吉軍法城兵人数及び諸侯伊賀の

城に投籠る事
上意なるべきに信雄の法師
て敵を待文一戦を遂ん
是長久の手段泉寺軍に全敗
事喜が勝と敵家康に
勝利を取る事面目なく
知いしるべし
○家康が井城攻の事
城兵夜討寄せ三策并生
捕方に諸事

家康秀吉に五月晦日法師小牧に
戦争に入り井城河
人詰せしを氏仁意の忠信
千程（三万五千）なり家康世に味方に法師小牧に

[illegible]

不安に堪ずして[illegible]

[illegible]

[illegible]

して然れども安倍貞任やはり出羽の国厨川の柵に籠城し
前九年の役（陸奥守源頼義朝臣）
源朝臣義家（後の八幡太郎義家）
源朝臣義家（後の八幡太郎義家）
源朝臣義家（後の八幡太郎義家

[illegible]仲光方ヲ攻ル間退散ス[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]城ヲ[illegible]ル[illegible]ル[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]ル[illegible]ル[illegible]
[illegible]ル[illegible]ル[illegible]
[illegible]ル[illegible]ル[illegible]

○警那佐田城攻落ノ事 城和睦ノ事

上杉謙信隅川下総守晴雅ヲ援田城ヲ攻ル大船二艘用意シ城中ノ二重ヲ通リ直ニ本城ヲ援田城ヲ攻シ城中ノ人ヲ招キ寄セ水攻ニ成ル城ノ方ニ向テ矢ヲ射掛ケ大勢ヲ以テ攻シ城ヲ攻ル事ヲ聞テ城ヲ離レ小勝利ヲ得ル地形ヲ出ル大将ヲ見テ矢ヲ射掛ケ水攻ニ成ル城ヲ攻ル事ヲ和睦調ヒ引揚ル様ニ成テ又モ攻キ寄セ下総守義氏ヲ生捕シ中略天水寺ヲ云ヲ近代佐ヲ木立間左京太夫義賢ガ嫡子四郎義弼ヲ父ヲ不快ノ時天文年中義弼ニ兵肥田城ヲ攻ル家ノ小弟須賀ヲ使ノ城ノ押ヘテ彼城ヲ水攻ニシテ利ヲ得ル義氏間佐

敵城ヲ下ル事ヲ水攻ニ成ル事

○信雄義春和睦家所長地嶮峰 附小侯相伝ノ事

上略義春ノ子我ノ方ヲ民業炭ヲ業ヲ成ル

中略 家康ニ信ハ信雄ニ和睦ス

上略 秀吉信雄ト和睦ス 信雄ハ織田家ノ

○信雄成敗 高木貞利 滝川一益 蒲生氏郷

○真田昌幸 二男ハ左衛門佐幸村 家臣ニ治

井伊直政 家臣退ク事

信濃国小田城主真田安房守昌幸ハ先ニ徳川勢成

ニ敗北シ家臣ニ此ヲ

中略

親去秋日真田表ニ一戦ハ味方大ハ敗ス 大勢討死

ハ 秋ニ 敗北シ 此方ハ心強シ 我ハ 家ニ

ハ 大久保忠世 人 真田ハ 文ハ 家ニ 不 信 成 小勢ニ

ハ 再ハ 軍ニ 信 信 信

仕掛物を[illegible]
経高神不[illegible]誘て[illegible]この[illegible]
軍[illegible]
[illegible]
[illegible]

○石川数正[illegible]退岡崎[illegible]
忠[illegible]
家[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]長秀年十歳にて病死し[illegible]長秀年十歳にて積気に病[illegible]
[illegible]し其病苦に堪さる[illegible]在て[illegible]注[illegible]し[illegible]
高人[illegible]陣を固い[illegible]と雖て[illegible]自害し[illegible]刈火葬し
[illegible]必に[illegible]中[illegible]件[illegible]
[illegible]し其[illegible]大[illegible]姿[illegible]形[illegible]石[illegible]小[illegible]
[illegible]の[illegible]背に[illegible]長[illegible]雨[illegible]て[illegible]く[illegible]て[illegible]
是[illegible]寺[illegible]の医[illegible]に[illegible]物[illegible]て[illegible]刈[illegible]医[illegible]
小[illegible]

○秀吉[illegible]将軍[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

小[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]秀吉を見て以為特[illegible]と不許事と思[illegible]
[illegible]と言詳[illegible]我と[illegible]
して警し[illegible]日後て[illegible]
小[illegible]
[illegible]
○[illegible]
上[illegible]
[illegible]秀吉
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一諸侯の國小人則其地狹形勢遠近廣狹兵の多少彼と當と
熟し勝人事を專とす者し
一山陰道國林本城郭を不構兵粮を必供兵糧を不運
う付て所々生産海の幸所不勝多し
一軍中小弓作を衣食所用と為し兵器と其二の
進無と雖事(たとへ)佳実上者と以て二汁二菜酒を肴
後進と為る
一諸軍中集て語る小清人と雖疑を為し或を商利
不成と雖悪無と挙け又を妖災不祥と後き虚
妄と以て軍勢の氣勢を失ふ
下略

○秀吉を清洲(城ハ元々尾州の主城)
駿府城に移し家康に
告九月廿五日于家康に

家康を遠江駿河の城に移し元亀二年より天
正十四年十二月下旬と彼所に住し城移て十六年中して後
府に城に移て天正十八年より住居城として住家人
等代々上番仕る
下略

○信濃国真田弁秀吉攻九度城并
上略
本多廣高を事
上略
徳川家康に出見して本多廣宗廣高
と九度に戦ふ城を攻る彼所に岩石の城(岩石の城と云ハ信濃の城)
の秀吉兵を攻ふ城と責大ひに責て
しかれ共秀吉のして上不感し年(たとへ)
の振舞と廣高に不のり
下略

○九度城合戦弁諸侍義を降参
上略秀吉幸統(伊集院右近大夫幸統)
以て出不宜の為諸

津数万王を成蔵に倫り好謀喜愛し是太不安を事
堅を得て島津一家氏族相撲業を盛し断絶せんと之
を島津氏を又頼朝公に書を送りて家に四百
余年武氏を彼氏族と称せん事恐れ奏上奉
と申て旧例を故のごとく完行しし云に幸統を収べ
為に絶て此を中絶る義久乃ち家を大収べ義久乃ち設
繁し徒に定伯と為し侍堂に入と事
て五月吉大平寺に書を秀吉に
ことを加く家を出せり 下略

○日向大隅敵退治付 後川秀棄石名
義 秀吉九州行列之事
上略 羽柴少将秀勝 中略 秀吉と肥後国に新
八城熊本城に逗留し 後に肥前国に任

し肥後一国の守護に被せらる中略 秀吉は博多宝殿に
逗留して
去年とと言ひ[illegible]
[illegible]
往古を博多管崎に在家十万余軒泉州堺に準ず
おとるなし家多のりしかと肥前国に遣寺と寺
の大友と会戦する事十余年あり軍略に始終せ[illegible]
きこと数年に及ぶ秀吉に[illegible]
後の町割十町家に大宝博多に[illegible]
流し金銀過ぎるなり 諸に新き五畿内にて[illegible]
分長家長と作り[illegible] 筑前に秀吉[illegible]
二男義春 三男義弘 [illegible] 老臣三人 [illegible]
博多と書[illegible] 中略 秀吉[illegible]

度は軍功無不用国中城主高名諸侍不抽忠誠英雄
粮特と云べし[illegible]
委細不注記[illegible]

○家康公は[illegible]昌[illegible]三年岩井[illegible]

上略

一千人敵[illegible]人[illegible]英[illegible]千英萬傑は[illegible]
[illegible]は[illegible]
[illegible]良特[illegible]
[illegible]
[illegible]

○秀吉[illegible]
[illegible]

上略

[illegible]

[illegible]

[illegible]

岡崎三郎三郎信康　秀忠子母生

成瀬上人　家康公伯父三郎大夫殿　三十二代
大樹寺十四代天正三年乙亥四月廿五日

於本源三郎家俊

聚楽主上夜遊行幸給ふ為　一番五常乗　二番
野曲　三番太平楽　中宮参殿　四辻大納言　持参中納言
五辻左馬頭以上三人　下略

徳川北辰椿葉陰改　尊猫南面松花十四

中宮　於[illegible]遊行[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○秀吉使者ヲ以小栗氏ヲ攻ル時清風[illegible]

上略

[illegible]小田原ノ[illegible]新九郎平氏長ハ平北國[illegible]
[illegible]男[illegible]ハ未齢ニシテ[illegible]
[illegible]より武州[illegible]代[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

寺城ヲ攻ル[illegible]日二年九月之間[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

秀吉ニ[illegible]ル[illegible]小路少[illegible]ル[illegible]ル[illegible]ル

上野佐竹氏の城郭の数、唯単城数　上品三ヶ城数四ヶ　下野国三ヶ十四　上総三ヶ城
相模三ヶ四　常陸三ヶ　下総　両城

○秀吉関東攻の事

上杉蒲生氏郷を去る二月末に京都に上り秀吉に謁し
こゝを基とする後を無事なる様に孤くを作り
家康佐竹義宣を三河萬石を氏郷に与へ
交替し氏郷は佐竹を武蔵に移し
しめる故に家康は一向宗にして一向宗中に秀吉関白
に成し秀吉と家康と仲悪敷義宣は
武蔵に来り小田原攻の事を聞し秀吉
に参ずるより家康の義を親し秀吉
に参ずるより家康の義を佐竹の近隣

に参ずるを以て家康の右に位する
能許に御下向遊ばされ家康は
中に氏郷を以て家康の義を
西国に軍を味方能様に
を毎日毎日討死せんと
左近桑名の事如
小田原に成し彼を氏郷の家
に見て大に驚き
しかや禁元
能なるまで
おの長男の
まし一しきり合戦

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○諸将攻越山城 并 小栗氏親武 [illegible]年

上略 [illegible]月の下旬より七月の中旬と
[illegible]攻[illegible]ども[illegible]
[illegible]

[illegible]

○家康公安城出馬 [illegible] 攻 并 [illegible]先津[illegible]年
上略 [illegible]軍の[illegible]
[illegible]

○[illegible]小田原と[illegible]方家康公城攻 [illegible]云 并 中良老
[illegible]

上略 [illegible]新田[illegible]城を中良[illegible]
[illegible]新[illegible]
[illegible]
[illegible]

相謂す[illegible]

[illegible]井[illegible]州土佐[illegible]守根[illegible]
三河守 [illegible]迫[illegible]守 [illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

賜美物事不去ハ早く可為本国故寄せ不ん事
少事と計ヒ申ス事なれ共ハ事ハ不能と考く
後悔ス[illegible]ハ東ハ宗盛ハ田ハ信俊ハ[illegible]
世事知ラく[illegible]中分の其為に東西ハ[illegible]
所と事ハ弟ハ[illegible]命下ハ[illegible]弟ハ[illegible]
信の村とや[illegible]仙[illegible]ハ[illegible]
事ハ[illegible]ハ[illegible]暇の[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
西宗盛ハ[illegible]事ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

寺じ妙じ[illegible]家[illegible]氏[illegible]味方[illegible]
[illegible]東国の[illegible]氏[illegible]
[illegible]法[illegible]可[illegible]
[illegible]

○長鑓林の城攻 并城陥事 稲葉寺妙[illegible]城[illegible]

第[illegible]

○[illegible]長成攻忍軍[illegible]水攻 押切 [illegible]

所[illegible]鑓林和睦[illegible]者[illegible]人[illegible]
[illegible]の城[illegible]
長氏の妻女[illegible]家[illegible]
泉守[illegible]
家長石田長束[illegible]

と伐取れ出城に押寄せ関ヶ原を城と長氏并
今年左右に佐方ヶ原軍兵数百騎を付して山田五郎兵衛宗
重方へ兵糧を長氏方兵衛ヶ原の城に籠城
をりとと自城を出て川越の陣小津を切り
出て川越に陣を定て合戦をなす
あきらめ為に出城を籠城を籠城
なれども軍を年内に成敗
不顧可推 武田勢を攻落さるに長氏の部屋も難
情出城と富士郡の住人の城中に
参り給い百姓所人に仕候ふ者共
宛恩賞し又兵粮米を栗林長宗
物を中小路に出す岩新油蝋茶等を長農人
高丈寺に軍に貯置 扨雑兵とも石城れ
を迫

陣屋の焼い土塁の跡を須しふい敵方へ水
代を預失ふ城中に居ふ多分人軍利
屋に来ふ一揆を返し出を為
細中下知を滅ふ女性の四根ふい寄物の書を
法ふ福本を中ふ作畏ふ組織を小路
ふと川越の迫ふ敵に陣を定
ふ敵の城ふい敵に陣を
好を出ふ味方を攻ふ
城ふ川越に向ふ迫き城
し敵を防く為に
陣屋里に出て土塁
中略 百姓を大谷長宗軍に
熟く奉ふ出城を地形を
地下中して

[illegible]城[illegible]日[illegible]堤を築き利根川と荒川を切り水路を
[illegible]城中の[illegible]を考へ[illegible]溺死せしものを[illegible]可惜